

Etrion 社が所有するメガソーラー発電所の取得について

2021年7月28日

関西電力株式会社

大阪ガス株式会社

株式会社日本政策投資銀行

関西電力株式会社（以下、関西電力）、大阪ガス株式会社（以下、大阪ガス）、株式会社日本政策投資銀行（以下、DBJ）は、カナダの再生可能エネルギー（以下、再エネ）発電事業者である Etrion Corporation が国内で所有する三沢太陽光発電所（以下、本発電所）を本日取得しました。

本発電所の概要は、以下の通りです。なお、本発電所の取得は、本年6月22日に取得した3発電所（雫石太陽光発電所、ハル水戸太陽光発電所および小松太陽光発電所）と同様に、関西電力が40%、大阪ガスが20%、DBJが40%をそれぞれ出資する特別目的会社を通じて行いました。3社が Etrion Corporation から取得した太陽光発電所は合計4発電所となります。

[\(2021年6月22日お知らせ済み\)](#)

	三沢太陽光発電所
所在地	青森県三沢市
設備容量 (パネル)	約 9,500kW
設備容量 (PCS※)	約 7,700kW
運転開始時期	2017年2月
電力の販売先	東北電力株式会社

関西電力グループは、ゼロカーボンエネルギーのリーディングカンパニーとして、再エネ電源の普及・拡大に向けた取り組みなどを通じて、2050年のゼロカーボン社会の実現に貢献してまいります。

Daigas グループは、太陽光、風力、バイオマスといった多種多様な再エネ電源を保有する強みを生かし、2050年のカーボンニュートラル実現に向け、お客さまとともに地球規模での環境貢献に寄与する取り組みを推進します。

DBJ は、国内外の太陽光発電や風力発電プロジェクトなどの再エネ電源に対するリスクマネー供給を通じ、2050年カーボンニュートラルに向けたお客様の取り組みを支援してまいります。

3社は今後も引き続き、地域の皆さま方のご理解を賜りながら、再エネの普及・拡大に貢献してまいります。

※ PCS (Power Conditioning Subsystem)

太陽光発電所で発電した電力(直流)を家庭等で利用するために交流に変換する機械。数値は交流変換後。PCS容量が系統電力へ送電可能な最大電力となる。

(発電所写真)



三沢太陽光発電所

【関係会社の概要】

関西電力株式会社

設立	1951年(昭和26年)5月
代表者	取締役代表執行役社長 森本 孝
所在地	大阪市北区中之島3丁目6番16号
事業概要	電気事業、熱供給事業、電気通信事業、ガス事業等

大阪ガス株式会社

設立	1897年(明治30年)4月
代表者	代表取締役社長 藤原 正隆
所在地	大阪市中央区平野町四丁目1番2号
事業概要	ガスの製造・供給・販売、電力の発電・販売など

株式会社日本政策投資銀行

設立	2008年(平成20年)10月
代表者	代表取締役社長 渡辺 一
所在地	東京都千代田区大手町1丁目9番6号
事業概要	出資や融資を始めとする長期資金の供給など

以上